

研究課題名：	ドセタキセルにおける浮腫発現の実態調査
研究機関名 所属（診療科等）：	さいたま赤十字病院 薬剤部
研究責任者及び職名：	薬剤師 鈴木 博
研究期間：	研究実施期間 2018年6月6日 ～ 2020年3月31日 カルテ調査情報収集期間 2016年1月1日 ～ 2019年3月31日 薬剤師指導記録より情報収集 2011年1月1日 ～ 2019年3月31日
研究の目的と意義：	乳がん患者さんにおいて、抗がん剤のドセタキセルによる浮腫の発現は特徴的な副作用の一つでもあり、特に下肢浮腫による日常生活への影響に不安を抱く患者さんも多い。浮腫予防としてデキサメタゾンの投与を行っているにも関わらず発現している患者さんが散見される。そこで、下肢浮腫の発現状況を明らかにし、今後の治療に活用できるよう評価することを目的とする。
研究内容：	2011年1月1日～2020年8月31日までの期間に、さいたま赤十字病院で乳がん手術を施行された患者さんにおいて、術後補助化学療法としてEC療法（E:EP、C:シタキセル）4コース終了後にドセタキセル療法4コース施行された患者さんを対象とし、レトロスペクティブにカルテ調査および薬剤師指導記録調査を行う。 調査項目は下記の通り 年齢、身長、体重、体表面積、抗がん剤名、レジメン名、前治療名、DOC 実投与量、2コース目および3コース目のday1及び最終4コース治療期間終了時点の下肢浮腫の発現状況（下肢浮腫のGrade評価、体重増減の有無）なお、下肢浮腫のGrade評価に有害事象共通用語基準 CTCAE Version4.0を使用する。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者さんの個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。当院より外部へ情報を送付することはない。集計した情報を学会発表や論文などで公表する際も患者さんの個人が特定できる情報は公表されない。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 薬剤部 氏名：鈴木 博 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111（内線3410）